

## 微気圧振動観測施設 (IS30) で観測された微気圧振動波形

## Infrasound waveforms observed in IS30

# 本間 基寛 [1]; 村山 貴彦 [1]; 新井 伸夫 [2]; 坂本 豊実 [1]; 天野 貴文 [1]; 乙津 孝之 [1]

# Motohiro Honma[1]; Takahiko Murayama[1]; Nobuo Arai[2]; Toyomi Sakamoto[1]; Takafumi Amano[1]; Takayuki Otsu[1]

[1] 気象協会; [2] 気象協会・調査部

[1] JWA; [2] Research Department, Japan Weather Association

微気圧振動監視観測所 (IS30) は、包括的核実験禁止条約に基づき設置される国際監視制度のための各種監視観測所 321 箇所の一つであり、東京から南東約 60km に位置する千葉県夷隅郡夷隅町に設置されている。この観測所は、6 つの微気圧振動センサーがアレイ状に構成され、そのうちの 5 つのセンサーは、一辺が約 1.2km の不規則な五角形に、残りの 1 つのセンサーは、五角形の中に配置されている。

日本気象協会 (JWA) では、2004 年 12 月より微気圧振動波形の観測を行っているが、昨年発表では 2004 年 12 月 2 日の三宅島小規模噴火に伴う微気圧振動波形の解析事例を紹介した。その後も、波形観測事例の蓄積を行っている。今回の発表では、2005 年 8 月 16 日の宮城県沖の地震、三宅島噴火、火球、台風の通過等に伴って発生したと考えられる微気圧振動波形の観測事例を紹介する。